

「東京都子ども基本条例」制定!

まつば多美子都議が中心となり、有識者から助言を受けた上で原案を取りまとめた条例が、全会一致で可決・成立しました。



子ども政策を総合的に推進するための条例

「東京都子ども基本条例」は、子どもの遊び場や居場所の整備、学びや成長への支援など、多岐にわたる子ども政策を総合的に推進することを「東京都の責務」とした画期的な内容です。「子どもは、社会の一員であり、あらゆる場面において権利の主体として尊重される必要がある」と明確に記されました。

国連「子どもの権利条約」の精神に基づく

この条例の基になっている「子どもの権利条約」(1989年に国連で採択され、現在まで世界196カ国・地域が批准)は、「子どもの生命・生存・発達の権利」「子どもの最善の利益の確保」「子どもの意見の尊重」「子どものあらゆる差別の禁止」を一般原則としています。日本政府も1994年に158番目で批准したものの、関連する国内法の整備は進んでいない状況でした。

今こそ子どもを守る規範を

近年、子どもが犠牲になる痛ましい虐待や事件が後を絶ちません。またコロナ禍は、子どもたちにも重くのしかかっています。まつば都議は、今こそ、子どもの権利条約の精神にのっとり、東京都が子どもに関する政策を総合的に推進する体制を整備することが必要であると考え、都議会公明党「東京都子ども条例検討プロジェクトチーム」の座長として、原案の作成に取り組んできました。

都議会での合意形成をリード

まつば都議は他会派との協議・調整を粘り強く重ねてきました。条例案は、最終的に都議会議員全員の賛同を得た内容に修正され、国にさきがける形で成立に至ることができました。

子どもたちに優しい社会は、すべての人に優しい社会
「チルドレンファーストの東京」実現へ

コロナ対策、勝負の時!

緊急事態宣言の解除後も、変異ウイルスや第4波を警戒し、引き続き感染拡大局面に備えた体制強化を進めてまいります。

コロナ禍における女性の負担軽減を!

公明党杉並総支部は、田中良杉並区長に「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を提出し、更新時期にあたる区の防災備蓄品の生理用品を必要な方へ配布することなどを要望しました。区長からは「早急に対応する」との回答がありました。また東京都も、まつば多美子都議の議会質問により、備蓄生理用品のうち27万3千枚を区市町村と連携を図り活用することになりました。



コロナ後遺症相談窓口を設置

先の都議会予算特別委員会において、まつば都議は、相談窓口の設置など、後遺症で苦しむ方への支援策を速やかに講じていくことを訴えました。これを受け、都は、都立駒込・大塚病院に「コロナ後遺症相談窓口」を設置し、対応策を進めていくことになりました。

変異ウイルスによる感染拡大への備え

都議会公明党は、これまで42回338項目にわたり新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望を申し入れするなど、都のコロナ対策をリードしてきました。直近では、今後の感染拡大への備えとして都知事に以下の緊急要望を提出し、早急な対応を求めました。



コロナ患者対応病床：7,000床の確保

変異ウイルス検査体制の拡充

宿泊療養の部屋数：10,000室の確保

飲食店利用に伴う対策のさらなる強化

プレミアム付商品券の詳細は中面をご覧ください



東京の未来のために挑戦を続けます。

1962年生まれ。創価大学経済学部を卒業後、国家公務員等を経て2005年の都議会議員選挙で初当選(現在4期目)。公明党中央幹事、公明党東京都本部女性局長。

公明党杉並総支部長 / 都議会議員

まつば多美子

たまちゃんネット <https://www.tamichan.net>

まつば多美子はLINEでも情報を発信しています。QRコードで簡単に登録できますので、是非ご登録をお願いします。



実施決定! プレミアム付商品券

コロナ禍から家計と暮らしを守るため、都議会公明党が提案・要望していたプレミアム付商品券を実施することが決定しました!

杉並区では、区議会公明党の強い要望で、デジタル・紙ともに30%のプレミアムが付与されることになりました。



発行総額	10億円(額面13億円) ※デジタル7.5億(9.75億円)、紙2.5億(3.25億)
プレミアム率	30%(デジタル・紙ともに)
販売価格	5,000円単位 購入限度額 1人25,000円
販売方法	事前申込抽選制により当選者へ販売 ※デジタルと紙の重複当選は不可
申込開始	令和3年6月下旬(予定)
有効期限	令和3年7月下旬~10月31日(予定)
利用できる店	杉並区内でプレミアム付商品券の取扱いを希望する店舗約1,500店(予定)

コロナワクチン接種最新情報 杉並区は円滑なコロナワクチン接種に向けて 着々と準備を進めています!

接種費用は**無料**です。(全額公費負担)

コロナワクチンの確保と無料接種を進めたのは公明党

昨年7月の参議院予算委員会で「海外ワクチン確保の予算措置をする」と政府答弁を引き出し、滞っていた海外製薬メーカーとの交渉が加速されました。

さらに、輸入停滞の事態も見据え、一定量の海外ワクチンを国内で生産する体制も推進し、その結果、全国民へのワクチン接種が着実に進むようになりました。

注意

新型コロナウイルスワクチンに便乗した詐欺行為等にご注意ください。
行政機関等が新型コロナウイルスワクチン接種に関して現金を要求することはありません。

不安に思った時や困った場合は警察署や国民生活センターにご相談ください。

■ 新型コロナウイルス詐欺 消費者ホットライン：0120-797-188

■ 警察相談専用電話：#9110



←最新情報は、区ホームページ(QRコード)をご覧ください

杉並区の接種準備状況 【令和3年3月25日現在】

■ **接種の開始時期** 65歳以上の高齢者への接種の開始は5月以降を予定し、4月中旬にクーポン券(接種券)を送付する予定です。ワクチン供給量の見通しが示されていないため、変更の可能性があります。

優先順	区分	開始時期
1	医療従事者	実施中
2	65歳以上の方(昭和32年4月1日以前に生まれた方)	5月以降順次実施予定
3	64歳以下で基礎疾患のある方	国からの 通知があり次第 お知らせします
4	高齢者施設等で従事している方	
5	60~64歳の方(昭和32年4月2日~昭和37年4月1日に生まれた方)	
6	上記以外の方	

■ **接種場所** 区立施設、区内医療機関等、より多くの会場で接種できるよう調整中です。

クーポン券(接種券)受け取り後の電話予約等 (午前9時~午後5時)
杉並区新型コロナウイルス接種コールセンター 0570-666-542

接種全般の問い合わせ (午前9時~午後9時)
厚生労働省新型コロナウイルスコールセンター 0120-761-770

接種後の副反応など医療にかかわる専門的な相談 (24時間)
東京都新型コロナウイルスワクチン相談センター【新設】 03-6258-5802